

2. ^{はま とん べつ ちやう}浜頓別町バイオマス産業都市構想の概要

北海道浜頓別町、人口 約0.4万人、面積 約4.0万ha

構想の概要

河川や地下水の水質汚染防止、臭気低減を中心とした環境保全により、酪農家の家畜ふん尿処理負担軽減や消化液供給による地域資源の有効活用、地産地消型の自立した再生可能エネルギーの創出による災害に強い町づくりなどに取り組み、「循環型酪農」の町づくりを目指す。

1. 将来像

- ① バイオマス資源循環を軸にした環境に優しい持続可能な地域社会の実現
- ② 新たな産業による雇用創出と農水産業の活性化
- ③ 再生可能エネルギーによる災害に強いまちづくりと地域産業と環境が調和した低炭素社会の構築

2. 事業化プロジェクト

- ① 集中型バイオガスプラントプロジェクト
 - ・家畜ふん尿、乳製品加工汚泥、水産加工残渣を原料とする集中型バイオガスプラントを建設。
- ② 個別型バイオガスプラントプロジェクト
 - ・「オール浜頓別」によるバイオガスプラントプロジェクトを推進。

3. 目標(10年後)

廃棄物系バイオマス

家畜ふん尿 120,380t
(経産牛換算5,074頭分、町内賦存量の約87%)
乳製品加工汚泥 100%、水産加工残渣 100%
肥料(消化液)、再生敷料利用 100%

5. 実施体制

- ・町が中心となって設立された「浜頓別町バイオマス事業推進協議会」でプロジェクトを推進するとともに、町民への普及・啓蒙を行う。
- ・集中型バイオガスプラントプロジェクトは、今後設立予定の浜頓別町バイオガス株式会社(仮称)が事業実施者としてプロジェクトを推進し、検討状況や進捗状況について同協議会に報告を行い、情報の共有、連携の強化を図る。

4. 地域波及効果

経済波及効果:9.35億円
新規雇用創出効果 直接効果:62人/年、総合効果:109人/年
化石燃料代替量 電気:11,296MWh/年、熱:42,119GJ/年
化石燃料代替費(電力及びA重油換算):473,678千円/年
温室効果ガス(CO2)排出削減量:6,647t-CO2/年
地域エネルギー自給率 電:35.7%、熱:62.2%
災害時の電気供給:11,296MWh/年

6. その他

- ・第5次浜頓別町まちづくり計画
- ・浜頓別町人口ビジョン
- ・浜頓別町まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・浜頓別町都市計画マスタープラン
- ・浜頓別町バイオマス活用推進計画

浜頓別町バイオマス産業都市構想の概要

～ラムサール条約湿地であるクッチャロ湖の環境保全と酪農業・水産業・食品製造業の共存共栄～



目指す町の将来像

①バイオマス資源循環を軸にした環境にやさしく、持続可能な地域社会の実現

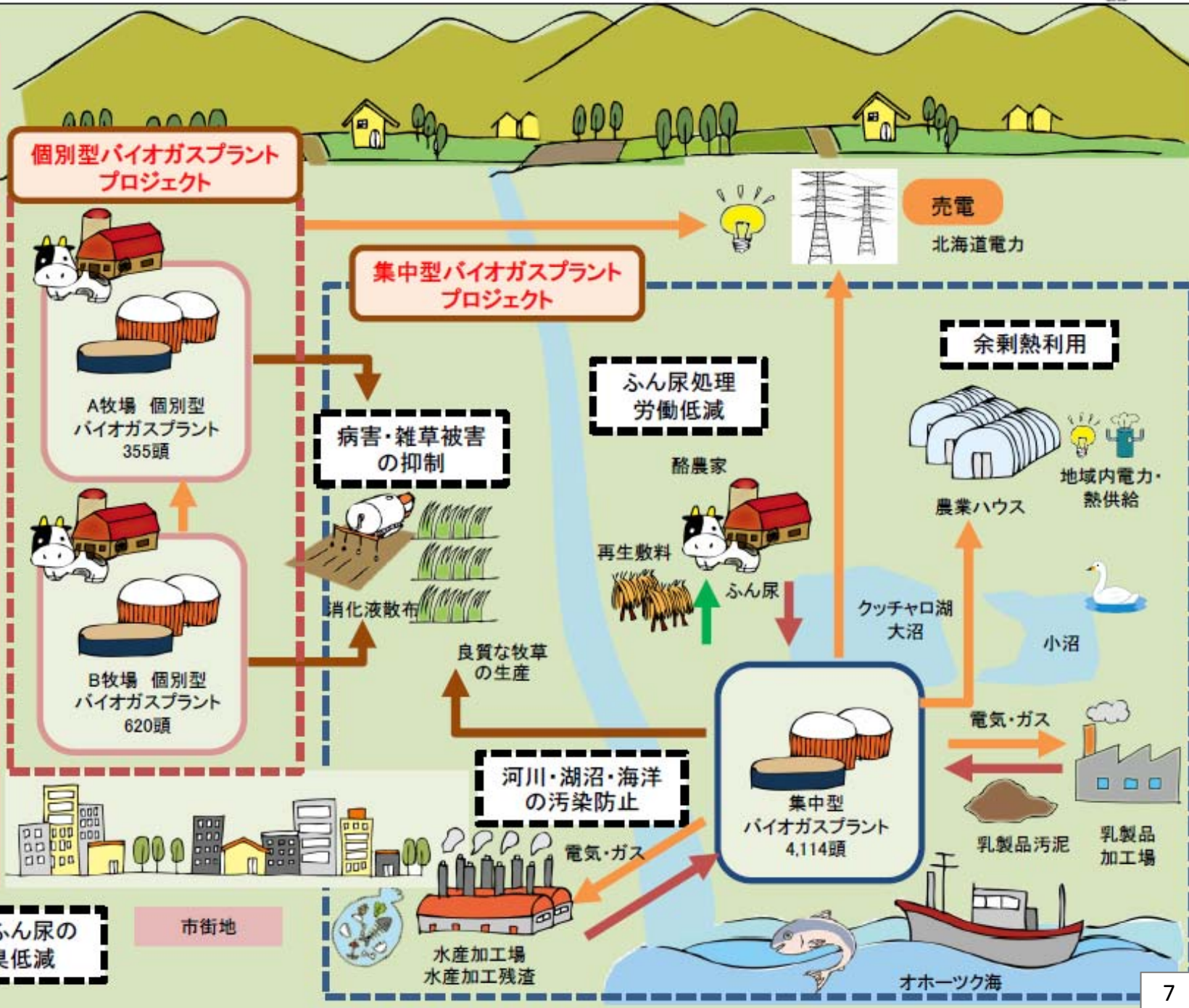
- ・ 消化液による粗飼料の安定生産と化学肥料コスト削減
- ・ 再生敷料の活用による酪農コストの削減
- ・ 河川、クッチャロ湖及びオホーツク海の汚染防止
- ・ 家畜ふん尿の悪臭低減

②新たな産業による雇用創出と農水産業の活性化

- ・ 電力販売、熱供給
- ・ 家畜ふん尿収集、消化液運搬
- ・ 地元企業による管理体制
- ・ 余剰熱販売、園芸施設での熱利用
- ・ バイオガスプラント視察の誘致

③再生可能エネルギーによる災害に強いまちづくりと地域産業と環境が調和した低炭素社会の構築

- ・ メタンガス発生抑制による地球温暖化の防止
- ・ 長期停電時における搾乳作業体制の確保
- ・ 乳製品加工汚泥と水産加工残渣のエネルギー化



バイオマスエネルギー
を利用した新たな産業
の創出

家畜ふん尿の
悪臭低減

市街地

水産加工工場
水産加工残渣

オホーツク海